

分野	科目名		配当年次	開講期
専門分野	母性看護学方法論 I		2 年次	後期
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1 単位 (15 時間)	16 時間	石丸 綾佳	有	
授業の概要	妊婦の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、新しい生命の誕生において母子が安全で安楽に過ごすために必要な看護を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の身体的特性および心理的・社会的特性を理解できる。 2. 妊娠期に必要な看護技術を理解できる。 3. 妊娠・出産に関する法律と施策を理解できる。 4. 妊娠に起こりやすいマイナートラブルとハイリスク妊婦の看護を理解できる。 5. 妊娠期に必要な保健指導内容を理解できる。 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	妊娠の成り立ち・妊娠経過に伴う母体の解剖的变化	講義	
	2	妊娠経過に伴う母体の生理的变化	講義	
	3	胎児の発育とその生理 妊婦の心理的・社会的特性、母親・父親役割取得過程	講義	
	4	母性看護技術：妊婦健康診査、産科的診察法	講義	
	5	妊娠期に必要な保健指導 マイナートラブルと日常生活の過ごし方	グループワーク	事前課題あり
	6	ハイリスク妊婦と看護 妊娠初期：感染症・流産・妊娠悪阻 妊娠中期：妊娠糖尿病・妊娠高血圧症候群・血液型不適合妊娠	講義	事前課題あり
	7	ハイリスク妊婦と看護 妊娠後期：多胎妊娠・早産・前置胎盤・常位胎盤早期剥離	講義	事前課題あり
	8	妊娠・出産に関する法律と施策 母子保健法と主な施策 勤労妊婦の母性保護規定 (労働基準法・男女雇用機会均等法・育児介護休業法)	グループワーク	
評価	筆記試験 100 点			
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新道幸恵ほか, 母性の心理社会的側面と看護ケア, 医学書院, 1990. 2. 医療情報科学研究所. 病気がみえる V o 1. 10 産科 第 3 版, メディックメディア, 2013. 3. 平澤 美恵子, 写真でわかる助産技術 アドバンス, インターメディカ, 2016. 4. 堀内成子, パーフェクト臨床実習ガイド, 母性看護実習 第 2 版, 照林社, 2017. 5. 立岡弓子, 周産期ケアマニュアル第 3 版, サイオ社, 2020. 			
備考				